資料２

第４期川崎区区民会議みんなのまちづくり部会進捗状況報告

審議テーマ・課題	課題解決の方向性	部会討議の内容・結果
		第2回　7月12日開催　参加委員10名 第3回　9月26日開催　参加委員9名

１　地域で身近な防災力
（歴史・環境から学ぶ）

(1)災害時に安全に避難できるようにするため、川崎区の歴史や環境の視点から防災を考える必要がある。

・対象の拡大や訓練内容の工夫など「防災訓練の推進」を検討する。
・防災出前講座の実施など区民の「防災知識を深める」取組を検討する。
・災害時に要援護者を支援する担い手の確保など、「地域防災力の強化」を進める取組を検討する。

【討議内容】
臨海部の企業の防災対策などを伝える出前講座、外国人市民を対象とした防災（避難）訓練の実施を提案することとし、出前講座や訓練の周知方法、通訳ボランティアの確保等について、検討した。

【討議結果】
- **臨海部の企業の防災対策等を伝える出前講座を住民のニーズに応じて開催できるようにする。**
- **外国人市民と日本人が一緒に参加できる防災（避難）訓練ができるよう検討を進める。地域の住民と知合える場として企画する。**

【主な意見】
- 災害時における身近な地域の住民同士の助け合いにつながる取組を進めたい。
- 防災情報をわかりやすく伝える努力がもっと必要だ。
- 外国人市民にも災害の実態を分かりやすく伝え、地域で顔見知りをつくる訓練としたい。

２　コミュニティバス導入の促進
（観光と福祉の向上）

(1)誰もが区内を安全に安心して移動できるようにするため、福祉や観光の視点を入れたコミュニティバスの導入方法を検討する必要がある。

・既存バス路線の変更に基づく新路線案、及びその運営方法や需要等を提案としてまとめ、関係機関（市交通局・民間バス事業者）に打診（検討の申し入れ）を行う。
（市作成の『地域交通の手引き』取組手順のステップ２「既存交通手段及びシステムの見直し」に該当）
・高齢者外出支援のしくみ等の福祉の視点だけでなく、観光の促進など地域振興の視点も含めて検討する。

【討議内容】
関係機関へ打診を行うために、具体的な運行ルートを検討した。
バス路線ニーズを明らかにするためのアンケート調査の実施に向け、調査票の内容を検討した。（コース図等、詳細別紙）

【討議結果】
- **川崎駅西口を基点に、日進町～（新川通）～新川橋～（国道15号）～元木～（市電通）～小田栄～大島四ツ角～藤崎1丁目～（市役所通）～川崎駅前～川崎駅西口の循環ルートを提案としてまとめた。**
- **提案ルートのニーズを測るためのアンケート調査の実施を決定し、調査票の内容を検討した。**
- **11月開催の区民会議フォーラムの企画の一部に試乗体験を組み込む。**

【主な意見】
- 通勤とは異なる生活、福祉、観光に資するルートを提案し、主旨を多くの区民に伝えたい。
- ルートの試走やニーズを把握するためのアンケート調査が必要だ。
- 運行距離のある路線提案となったので、ワンコインバスとしての運営は難しい。（事務局）